

8. 預貯金のみ保有層の証券投資に関する意識

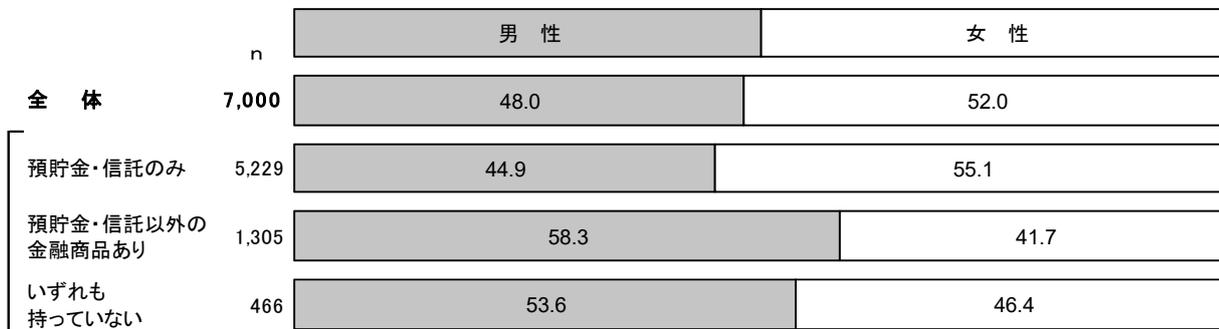
- (1) 性別 (F 1)
- (2) 配偶者の有無 (F 3)
- (3) 職業 (F 4)
- (4) 主な収入源 (F 5)
- (5) 税込み年収 (F 6)
- (6) 購読新聞 (F 7)
- (7) 住居 (F 9)
- (8) 金融商品に対する重視点 (問 6)
- (9) 株式購入理由 (問 38)
- (10) 投資信託購入理由 (問 46)
- (11) 公社債購入理由 (問 52)
- (12) 【株式保有未経験者】株式非購入の理由 (問 41)
- (13) 【投資信託保有未経験者】投資信託非購入の理由 (問 48)
- (14) 【公社債保有未経験者】公社債非購入の理由 (問 54)
- (15) 証券投資知識の習得内容 (問 11)
- (16) 証券投資知識の習得方法 (問 12)
- (17) 証券投資全般のイメージ (問 16)
- (18) 証券会社のイメージ (問 29)
- (19) 「未公開株・社債などの詐欺」の認知度 (問 18)
- (20) 「証券取引等監視委員会」の認知度 (問 19)
- (21) 「日本投資者保護基金」の認知度 (問 19)
- (22) 「日本証券業協会」の認知度 (問 19)
- (23) 「東京証券取引所」の認知度 (問 19)
- (24) 「証券・金融商品あっせん相談センター (FINMAC)」の認知度 (問 19)
- (25) N I S A 認知 (問 21)

注) 前回調査からの継続性を踏まえ、「預貯金のみ保有層」の「預貯金」には「信託」を含みます。

(1) 性別 (F 1)

● 預貯金のみを保有している層（以下、預貯金のみ層という）は、女性が過半数（55.1%）を占め、預貯金以外の金融商品を保有している層（以下、証券保有層という）は、男性が6割弱（58.3%）を占める。

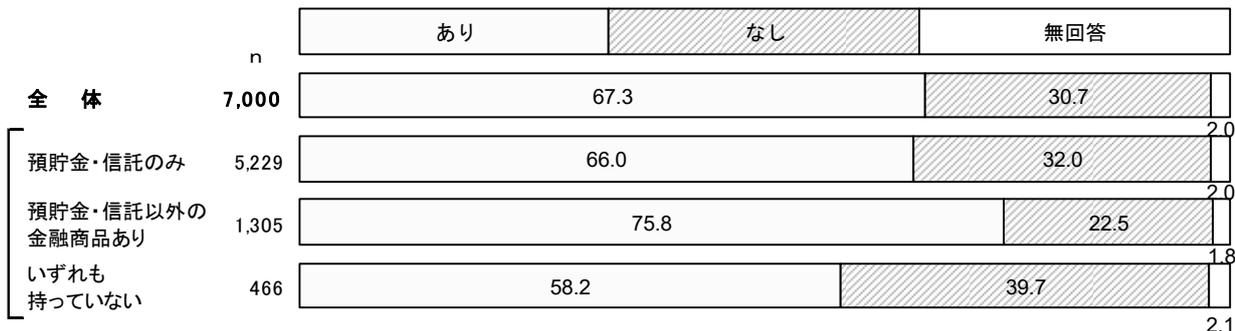
図表 8-1 性別 (F 1)



(2) 配偶者の有無 (F 3)

● 証券保有層は、預貯金のみ層に比べ「配偶者あり」の割合が高い。

図表 8-2 配偶者の有無 (F 3)



(3) 職業 (F 4)

● 職業は、預貯金のみ層は、証券保有層に比べ「パート・アルバイト」が高く、「常勤雇用（役員・管理職）」、「無職・年金のみ」が低い。

図表 8-3 職業 (F 4)

	n	自営業主	自由業	家族従業者	常勤雇用 (役員・ 管理職)	常勤雇用 (非管理職)	契約社員・ 派遣社員	パート・アルバイト ・カネ	専業主婦	無職・ 年金のみ	学生	その他	無回答
全体	7,000	10.8	0.5	7.2	21.9	4.3	15.9	14.5	20.9	0.0	1.9	0.5	
預貯金・信託のみ	5,229	10.8	0.4	6.1	22.1	4.5	17.3	15.0	19.6	0.0	2.1	0.5	
預貯金・信託以外の 金融商品あり	1,305	11.1	0.8	11.7	21.5	3.4	10.2	13.6	24.8	0.0	0.3	0.6	
いずれも 持っていない	466	10.3	0.0	6.4	20.4	4.7	16.1	11.4	24.9	3.9	0.0	0.6	

(4) 主な収入源 (F 5)

● 主な収入源は、預貯金のみ層は、証券保有層に比べ「給与所得」と「特に収入はない」が高く、「恩給・年金」が低い。

図表 8-4 主な収入源 (F 5)

	n	給与所得	事業所得	利子・配当	貯蓄の 取り崩し	家賃・地代	恩給・年金	特に 収入はない	その他	無回答
全体	7,000	51.8	7.6	0.1	0.6	0.6	27.3	11.3	0.5	0.2
預貯金・信託のみ	5,229	52.9	7.4	0.0	0.6	0.5	25.5	12.3	0.5	0.2
預貯金・信託以外の 金融商品あり	1,305	48.0	8.5	0.4	0.8	0.9	35.0	6.0	0.2	0.2
いずれも 持っていない	466	49.8	7.5	0.0	0.0	0.2	26.0	15.5	0.6	0.4

(5) 税込み年収（F6）

● 税込み年収は、預貯金のみ層は、証券保有層に比べ「200万円未満」が高い。平均値は、預貯金のみ層の244.4万円に対して、証券保有層は380.1万円。

図表 8-5 税込み年収（F6）

	n	100万円未満	100~200万円未満	200~300万円未満	300~400万円未満	400~500万円未満	500~700万円未満	700~1000万円未満	1000~1500万円未満	1500~2000万円未満	2000万円以上	無回答	平均値		
全体	7,000		27.6		19.3		15.4		10.3	8.1	7.1	3.8	6.9	268.8	
預貯金・信託のみ	5,229		29.8		20.0		15.4		10.0	7.5	6.3	2.9	7.2	244.4	
預貯金・信託以外の金融商品あり	1,305		16.8	16.2	15.5	11.8	12.1	10.8	8.0	3.5	4.4	0.6	4.4	380.1	
いずれも持っていない	466		33.5		20.0		14.8		9.4	3.9	5.6	0.5	9.9	219.3	
												2.1	0.6	0.2	0.0

(6) 購読新聞（F7）

● 購読新聞は、預貯金のみ層は、証券保有層に比べ「現在読んでいる新聞は特にない」が高い。証券保有層は、「読売新聞」、「朝日新聞」、「日本経済新聞」が高い。

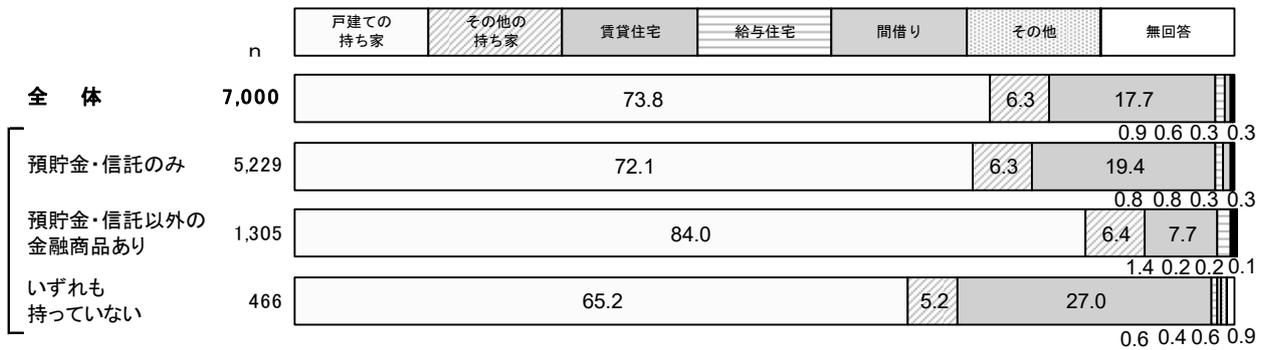
図表 8-6 購読新聞（複数回答）（F7）

	n	地方紙	読売新聞	朝日新聞	日本経済新聞	スポーツ新聞	毎日新聞	産経新聞	その他	現在読んでいる新聞は特にない	無回答
全体	7,000	27.6	15.8	11.2	3.7	3.7	3.3	2.6	4.2	36.6	0.1
預貯金・信託のみ	5,229	27.5	14.7	10.0	1.8	3.7	3.2	2.4	4.4	39.5	0.2
預貯金・信託以外の金融商品あり	1,305	29.1	21.3	18.0	12.3	3.8	4.4	3.9	3.8	19.8	0.1
いずれも持っていない	466	24.5	12.4	5.4	0.4	3.4	1.9	1.3	3.2	50.9	0.2

(7) 住居 (F9)

● 住居は、預貯金のみ層は、証券保有層に比べ「戸建ての持ち家」比率が低く、「賃貸住宅（公社、民間など）」が高い。

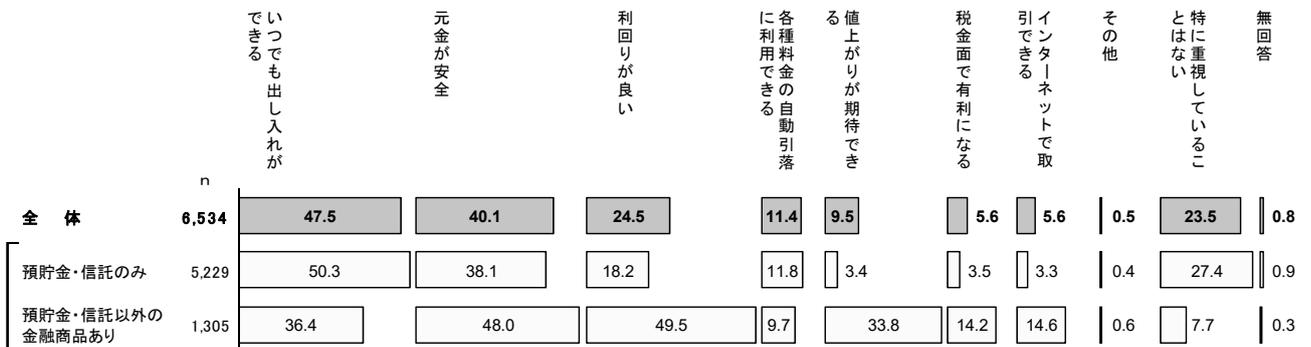
図表 8-7 住居 (F9)



(8) 金融商品に対する重視点 (問6)

● 金融商品に対する重視点については、預貯金のみ層は、証券保有層に比べ「いつでも出し入れができること」、「特に重視していること」の割合が高く、「元金が安全」、「利回りが良いこと」、「値上がりが期待できること」、「税金面で有利になること」、「インターネットで取引できること」の割合は低い。

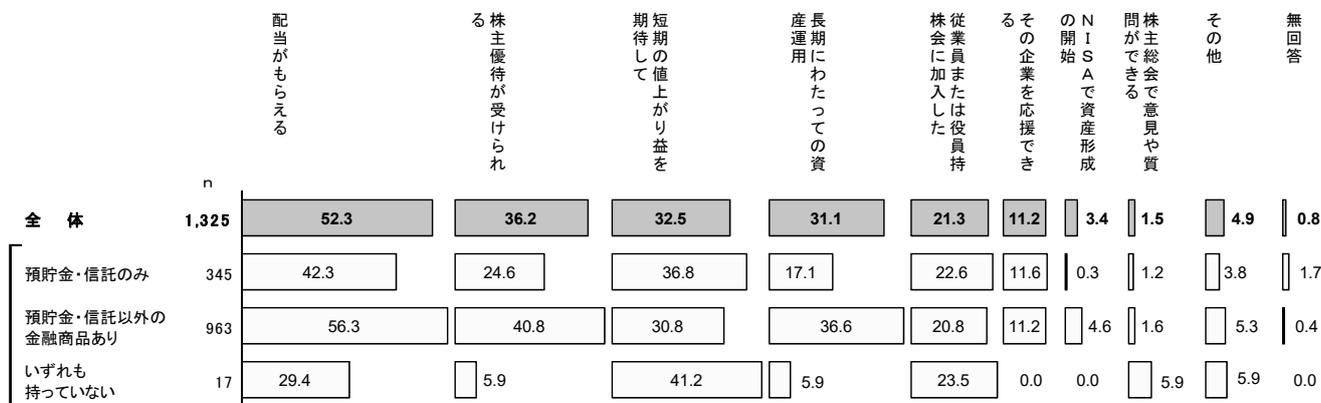
図表 8-8 金融商品に対する重視点 (複数回答) (問6)



(9) 株式購入理由 (問 38)

● 株式の現在保有者および以前保有者の株式購入理由については、証券保有層に比べて預貯金のみ層では、「短期の値上がり益を期待して」が高い一方で、「配当がもらえるから」、「株主優待が受けられるから」、「長期にわたっての資産運用として」は低い。

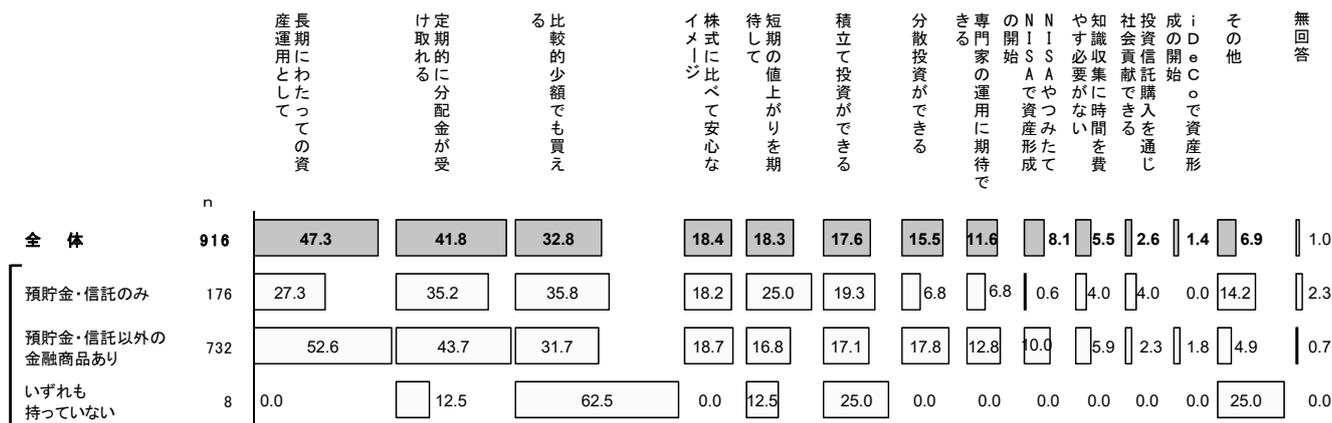
図表 8-9 株式購入理由 (複数回答) (問 38)



(10) 投資信託購入理由 (問 46)

● 投資信託の現在保有者および以前保有者の投資信託購入理由については、証券保有層に比べて、預貯金のみ層では、「短期の値上がり益を期待して」が高い一方で、「長期にわたっての資産運用として」、「定期的に分配金が受け取れる」、「分散投資ができるから」は低い。

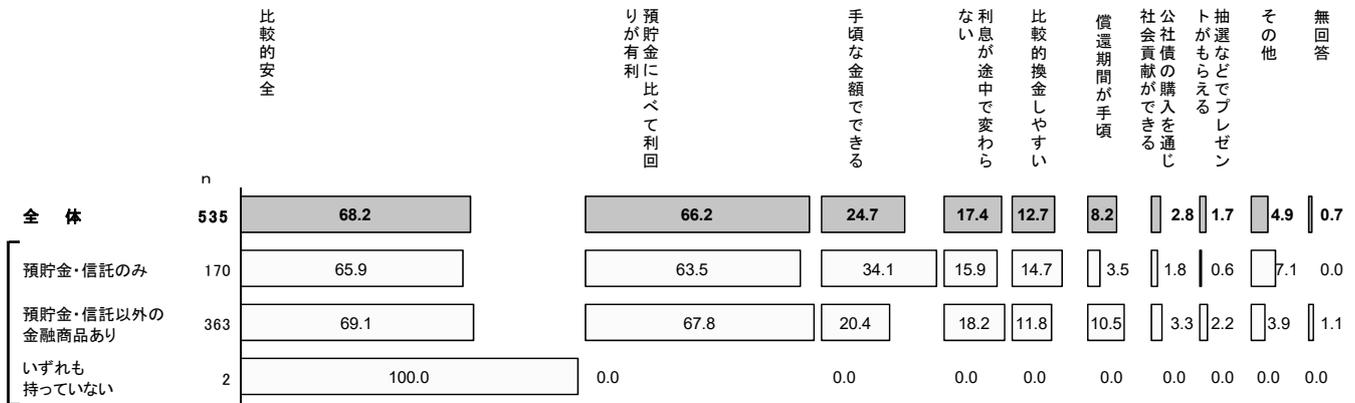
図表 8-10 投資信託購入理由 (複数回答) (問 46)



(11) 公社債購入理由 (問 52)

● 公社債の現在保有者および以前保有者の公社債購入理由については、証券保有層に比べて、預貯金のみ層は「手頃な金額でできるから」が高い一方で、「償還日が資産運用期間として手頃だから」は低い。

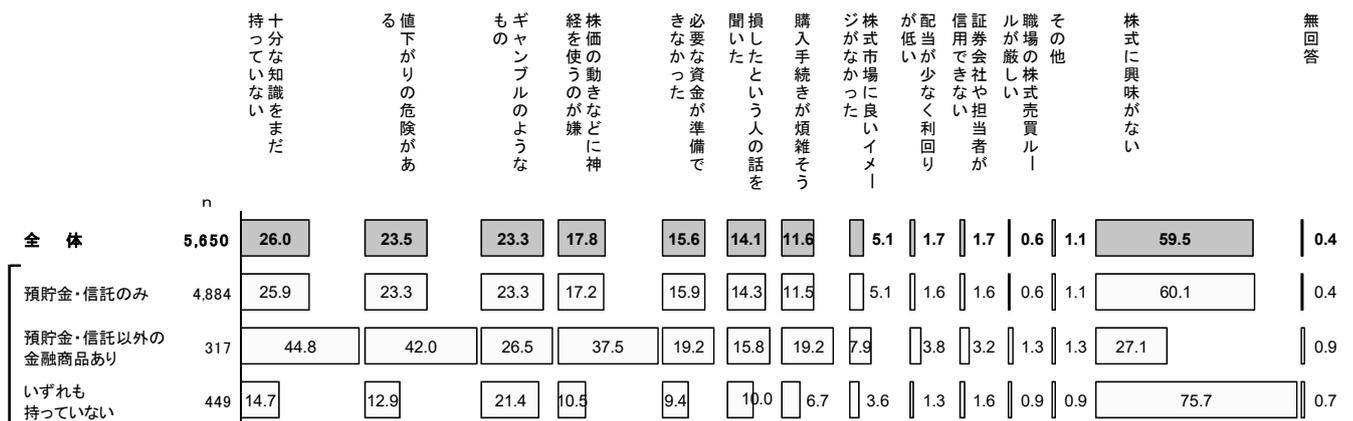
図表 8-11 公社債購入理由 (複数回答) (問 52)



(12) 【株式保有未経験者】株式非購入の理由 (問 41)

● 株式保有未経験者の株式非購入の理由については、証券保有層に比べて、預貯金のみ層では「株式に興味がないから」が高く、「十分な知識をまだ持っていないと思った (どの銘柄を買ったらよいかわからなかった) から」、「値下がりの危険がある (元本の保証がない) から」、「株価の動きなどに神経を使うのが嫌だったから」は低い。

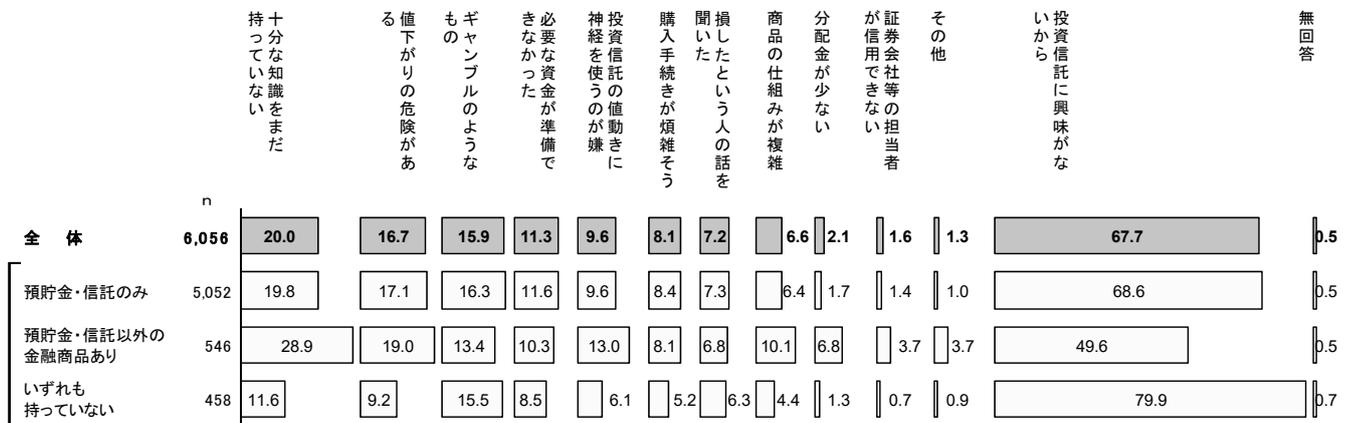
図表 8-12 【株式保有未経験者】株式非購入の理由 (複数回答) (問 41)



(13) 【投資信託保有未経験者】投資信託非購入の理由（問 48）

● 投資信託保有未経験者の投資信託非購入の理由については、証券保有層に比べて預貯金のみ層で「投資信託に興味がないから」が高く、「十分な知識をまだ持っていないと思った（どの銘柄を買ったらよいかわからなかった）から」、「分配金が少ないから」は低い。

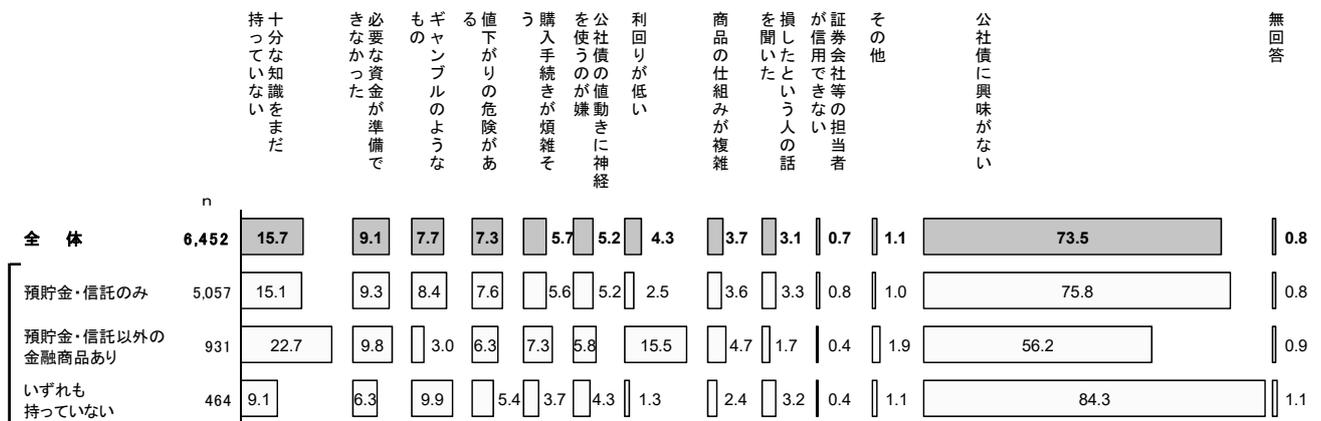
図表 8-13 【投資信託保有未経験者】投資信託非購入の理由（複数回答）（問 48）



(14) 【公社債保有未経験者】公社債非購入の理由（問 54）

● 公社債保有未経験者の公社債非購入の理由については、証券保有層に比べて、預貯金のみ層で「ギャンブルのようなものだと思ったから」、「公社債に興味がないから」が高く、「十分な知識をまだ持っていないと思った（どの銘柄を買ったらよいかわからなかった）から」、「利回りが低いから」は低い。

図表 8-14 【公社債保有未経験者】公社債非購入の理由（複数回答）（問 54）



(15) 証券投資知識の習得内容 (問 11)

● 証券投資知識の習得内容については、証券保有層に比べて、預貯金のみ層は「実際に投資をしている人のノーハウややり方・投資額」、「口座開設や金融商品の売買方法に関する具体的な方法」、「証券税制の仕組みに関する知識 (NISA を含む)」、「わからない」が高く、「経済に関する全般的な知識」が低い。

図表 8-15 証券投資知識の習得内容 (複数回答) (問 11)

	n	投資対象商品の種類 や仕組みやリスク	自分に通じた投資の 商品・スタイル	投資のリスクを減らす 方法	投資者のノーハウや り方や投資額	口座開設や金融商品の 売買方法	経済に関する全般的な 知識	証券税制の仕組み (NISA を含む)	投資をしている人達の 成功談・失敗談	知識は必要ない	わからない	無回答
全体	1,758	45.7	44.8	34.8	27.8	25.2	23.1	20.9	16.5	5.3	9.6	1.0
預貯金・信託のみ	859	47.1	44.4	33.6	31.8	36.0	20.3	24.0	17.8	4.1	14.2	0.9
預貯金・信託以外の 金融商品あり	848	44.9	45.8	37.3	24.4	14.5	26.2	18.6	15.2	6.5	4.4	0.9
いずれも 持っていない	51	35.3	37.3	13.7	17.6	21.6	19.6	7.8	15.7	5.9	19.6	2.0

(16) 証券投資知識の習得方法 (問 12)

● 証券投資知識の習得方法については、証券保有層に比べて、預貯金のみ層では、「中立的な機関 (大学・団体・取引所など) が実施する無料のセミナーへの参加」、「スマートフォンを利用したインターネットからの情報」、「周囲の投資経験者からの意見やアドバイス」、「わからない」が高く、「パソコンやタブレットを利用したインターネットからの情報」、「証券会社や金融機関担当者からの説明」、「新聞やテレビ、ラジオからの情報」は低い。

図表 8-16 証券投資知識の習得方法 (複数回答) (問 12)

	n	中立的機関の無料セミ ナーへの参加	PCやタブレットの インターネット	証券会社や金融機関担 当者からの説明	金融機関が実施するセ ミナーへの参加	新聞やテレビ、ラジ オ	スマホのインターネッ ト	周囲の投資経験者から の意見	金融専門誌や書籍	証券会社や金融機関 の冊子やパンフ	わからない	無回答
全体	1,758	34.1	34.0	29.3	24.5	23.2	22.7	22.3	16.2	15.0	8.9	0.3
預貯金・信託のみ	859	38.0	31.8	26.0	26.8	17.5	25.7	25.3	14.7	15.5	11.4	0.6
預貯金・信託以外の 金融商品あり	848	30.4	37.0	33.8	22.8	29.5	20.2	19.9	18.2	14.9	5.1	0.0
いずれも 持っていない	51	29.4	21.6	9.8	13.7	15.7	13.7	11.8	9.8	7.8	31.4	0.0

(17) 証券投資全般のイメージ (問 16)

● 証券投資のイメージは、証券保有層に比べて、預貯金のみ層では「難しい」、「ギャンブルのようなもの」、「お金持ちがやるもの」、「なんとなく怖い」が高く、「資産を増やす」、「将来の生活資金の蓄えに役立つ」、「勉強になる」は低い。

図表 8-17 証券投資全般のイメージ (複数回答) (問 16)

	n	難しい	資産を増やす	もギャンブルのような	お金持ちがやるもの	なんとなく怖い	将来の生活資金の蓄えに役立つ	しつこく勧誘される	勉強になる	社会貢献に役立つ	楽しそう	その他	無回答
全体	7,000	41.2	37.6	32.6	32.5	29.3	16.1	10.7	8.7	2.8	2.0	2.4	0.8
預貯金・信託のみ	5,229	42.9	33.4	34.5	36.6	32.4	11.0	11.1	5.8	2.2	1.3	2.3	0.9
預貯金・信託以外の金融商品あり	1,305	32.9	59.2	25.3	13.9	16.9	39.4	8.4	22.0	5.7	5.6	2.1	0.2
いずれも持っていない	466	45.5	24.7	31.3	38.4	29.2	7.5	12.2	3.2	1.5	0.6	4.5	1.1

(18) 証券会社のイメージ (問 29)

● 証券会社のイメージは、証券保有層に比べて、預貯金のみ層では「敷居が高い」、「あまり信頼できない」が高く、「経済情報を発信している」、「積極的である」、「社会の役に立つ」、「信頼できる」、「将来性がある」、「身近である」は低い。

図表 8-18 証券会社のイメージ (複数回答) (問 29)

	n	敷居が高い	あまり信頼できない	いる経済情報を発信して	勧誘がしつこい	積極的である	社会の役に立つ	信頼できる	将来性がある	身近である	その他	無回答
全体	7,000	38.5	30.2	23.4	14.7	9.0	5.4	3.7	3.4	3.3	7.9	2.1
預貯金・信託のみ	5,229	41.7	31.9	20.5	14.4	6.8	4.5	1.8	3.0	1.6	8.2	2.2
預貯金・信託以外の金融商品あり	1,305	26.7	20.2	39.0	15.9	19.3	10.1	12.0	5.4	11.2	5.6	1.1
いずれも持っていない	466	35.6	38.6	12.4	15.5	5.4	2.6	0.9	1.9	0.4	11.2	3.0

(19) 「未公開株・社債などの詐欺」の認知度（問 18）

● 「未公開株・社債などの詐欺」の認知度については、「認知・計」でみると、証券保有層が約 8 割（79.0%）に対し、預貯金のみ層は約 5 割（49.3%）で、30 ポイント程度の差がある。

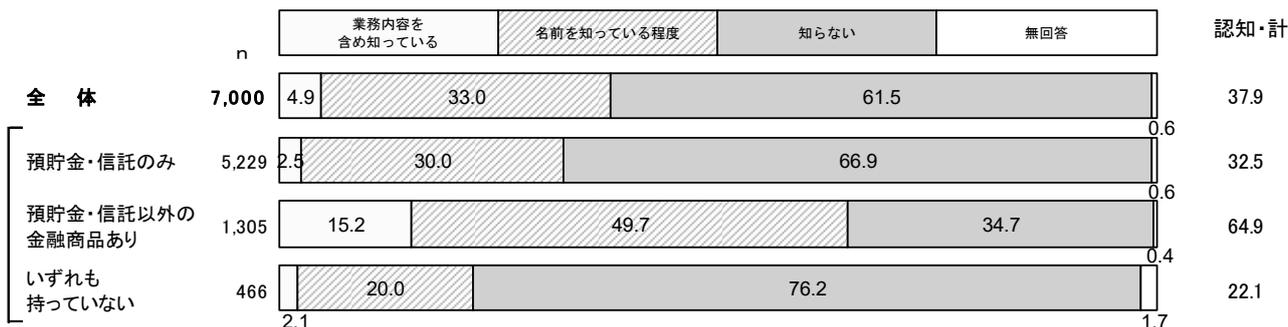
図表 8-19 「未公開株・社債などの詐欺」の認知度（問 18）



(20) 「証券取引等監視委員会」の認知度（問 19）

● 「証券取引等監視委員会」の認知度については、証券保有層に比べて預貯金のみ層で認知度が低く、「認知・計」でみると 32 ポイント程度の差がある。

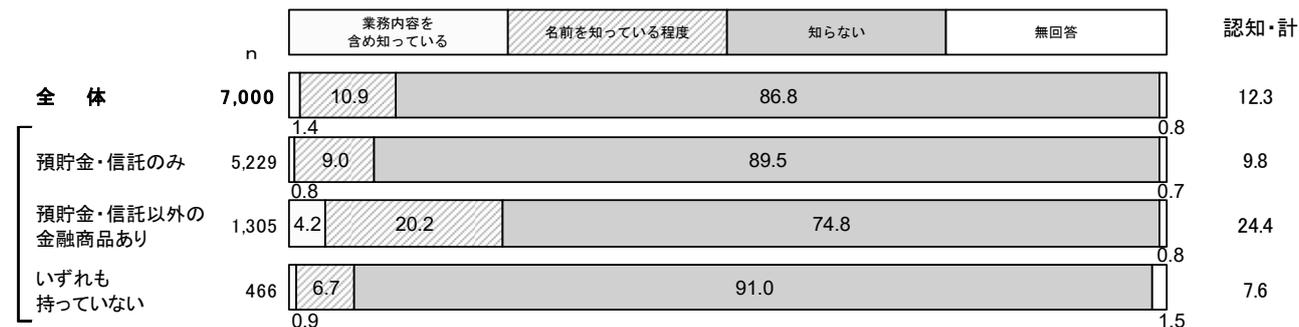
図表 8-20 「証券取引等監視委員会」の認知度（問 19）



(21) 「日本投資者保護基金」の認知度（問 19）

● 「日本投資者保護基金」の認知度については、証券保有層に比べて預貯金のみ層で認知度が低く、「認知・計」でみると 15 ポイント程度の差がある。

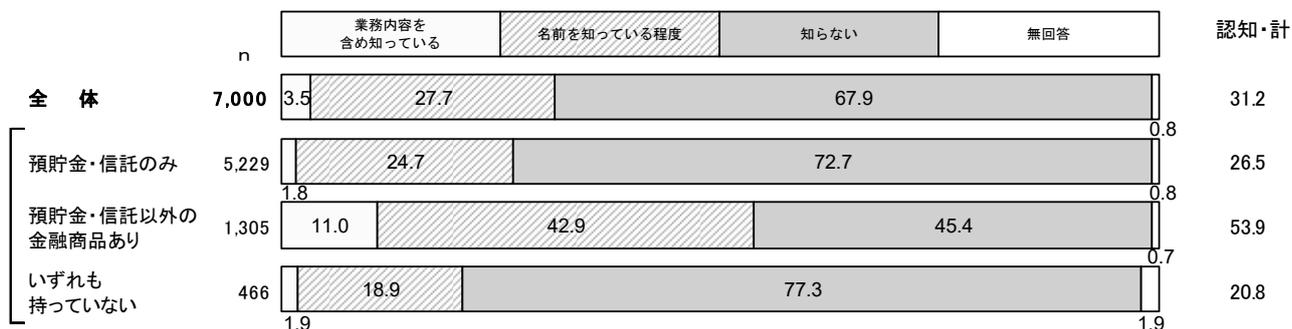
図表 8-21 「日本投資者保護基金」の認知度（問 19）



(22) 「日本証券業協会」の認知度（問 19）

● 「日本証券業協会」の認知度については、証券保有層に比べて預貯金のみ層で認知度が低く、「認知・計」で見ると 27 ポイント程度の差がある。

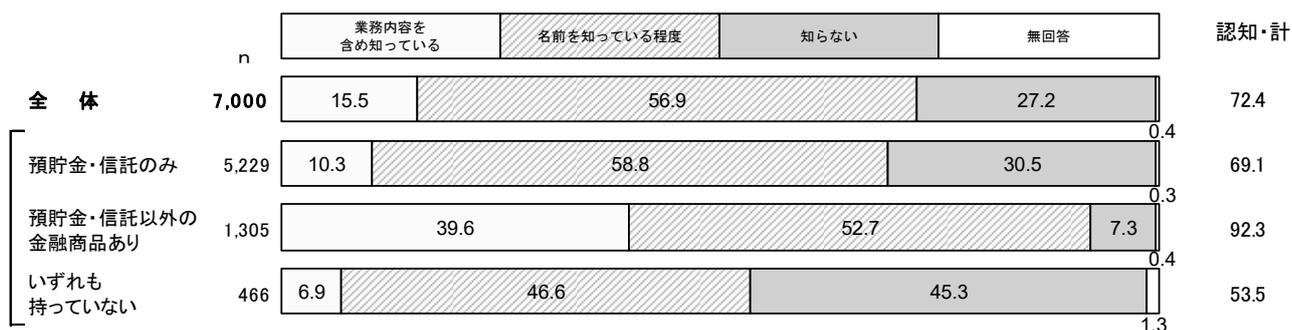
図表 8-22 「日本証券業協会」の認知度（問 19）



(23) 「東京証券取引所」の認知度（問 19）

● 「東京証券取引所」の認知度については、証券保有層に比べて預貯金のみ層で認知度が低く、「認知・計」で見ると 23 ポイント程度の差がある。

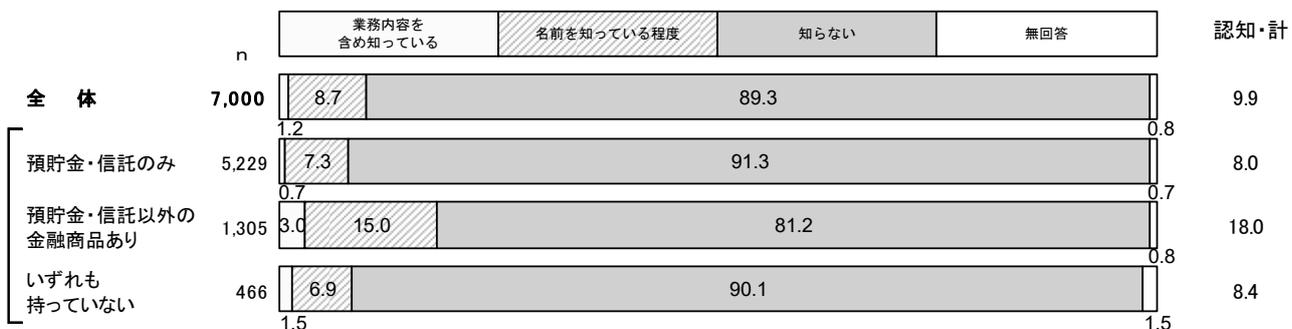
図表 8-23 「東京証券取引所」の認知度（問 19）



(24) 「証券・金融商品あっせん相談センター（FINMAC）」の認知度（問 19）

● 「証券・金融商品あっせん相談センター（FINMAC）」の認知度については、証券保有層に比べて預貯金のみ層で認知度が低く、「認知・計」で見ると 10 ポイント程度の差がある。

図表 8-24 「証券・金融商品あっせん相談センター（FINMAC）」の認知度（問 19）



(25) N I S A 認知 (問 21)

● NISA に関して、預貯金のみ層では「知らない」が半数以上 (54.7%) を占め、証券保有層の 13.2% に比べて高い。

図表 8-25 N I S A 認知 (問 21)

